

## 第4回普及啓発部会が開催されました。



2018年2月16日  
上越市市民プラザ第4会議室にて

### 次年度へ向けて・・

委員7名と事務局3名が参加し、これまでの振り返りと次年度の具体的な普及啓発の内容や方法について話し合いをしました。

#### ○振り返り

福祉・介護・健康フェア in 上越（会場：オーレンブラザ）での台本や上越市の市民啓発講座「介護予防！骨折・認知症予防講座」「在宅で介護や医療を受けながら暮らすための市民啓発講座」の内容、12月12日の実務担当者会議での意見を参考に、どういった内容や方法が良いか検討しました。

#### ○具体的な普及啓発内容や方法について

- ・大事なのは本人や家族の意向であり、それらを考える機会を作っていく必要がある。
- ・オーレンブラザでの普及啓発は、文字で伝えていたため、イメージがわきにくいところがあった。実際の支援の様子、在宅の様子が写真やイラストなどにより伝えられるとイメージしやすい。
- ・在宅医療・介護の普及啓発DVDを作成し、両市内の病院、施設等の待合所などに流すとPRになるのではないか。だが、作成するにはハードルが高い。
- ・まずは、スライドを写真やイラストで作成する。来夏の完成を目指す。オーレンブラザで行った普及啓発のシナリオをビジュアル化し、それをベースにさらに加工する。

#### ○普及啓発を行う場面

- ・各職能団体内での啓発
- ・各職能団体が市民向け講座
- ・両市での市民啓発講座

#### ○今後のスケジュール

平成30年5月までに事務局でオーレンブラザでの普及啓発のシナリオをもとに市民へ向けて普及啓発を行うスライドを作成する。

次回部会：平成30年6月頃

- 在宅介護の経験の有無で、イメージのわき方が違う。市民がイメージできるケアや支援を伝えていくことが必要。